

令和８年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ

１　キャンペーンテーマ

『あなたの話を聞かせてください』

２　趣旨

本キャンペーンテーマは、主として次に掲げるメッセージを発信するものです。

ＨＩＶとエイズをめぐる状況は、治療や予防の進歩により大きく変化しています。一方で、ＨＩＶに関する不安や悩み、検査や治療へのためらい、感染した人々への差別や偏見は、今なお社会の中に存在しています。こうした課題に向き合うためには、最新の正しい知識の普及に加えて、一人ひとりの思いや経験に耳を傾け、互いを尊重し合う姿勢が重要です。

今年度の「世界エイズデー」キャンペーンテーマには、令和７年 11 月に改正された予防指針でも重視している「人権の尊重」という考え方を広く社会に伝えたいという思いが込められています。ＨＩＶに感染している人、感染を心配している人、検査や治療について迷っている人、そしてＨＩＶやエイズについて身近に感じる機会の少ない人も含め、誰もが安心して自分の思いを語ることができ、その声に耳を傾ける社会を目指すメッセージです。

知識を得ることは大切ですが、それだけで検査の受検や受診、治療の継続といった行動につながるとは限りません。不安や悩みに寄り添い、必要なときに話を聞いてくれる人や相談先があることは、適切な行動への大きな支えとなります。また、ＨＩＶ陽性者の語りは、多くの人々に理解や共感をもたらしてきました。

このテーマは、誰かに話すことを求めるものではなく、話したいと思ったときに、その声を受け止める環境の大切さを伝えるものです。世界エイズデーを契機に、対話と共感を通じてＨＩＶとエイズへの理解を深め、検査や相談の促進、差別や偏見のない社会の実現につなげていきたいと考えています。

厚生労働省　令和８年度「世界エイズデー」実施要綱 添付資料より

